

環境白書の発刊にあたって



京都は、千年以上にわたる長い歴史の中で、鴨川や桂川、そして山々などの多様な自然と調和・共生しながら豊かな文化や地域に根差した産業を育んできました。

しかし、近年の状況を見ますと、夏の記録的な高温や自然災害等による農作物の被害が続き、また去年は、これまで生息が確認されてこなかった地域でクマが出没するなど、私たちを取り巻く環境が大きく変化してきております。気候変動への対策をより一層推進するとともに、人々の暮らしと自然が共生する地域社会を実現することの必要性を改めて感じています。

こうした状況を踏まえ、京都府においては、2050年温室効果ガス排出量実質ゼロの脱炭素社会を目指した取組のほか、廃棄物の3Rによるゼロエミッション社会の構築、生物多様性の保全・継承など、共生による環境先進地・京都の実現に向け、様々な環境施策を総合的に進めているところです。

今年度は、京都府における環境の保全及び創造に関する長期的な政策の大綱を定める「京都府環境基本計画」の改定をはじめ、「京都府地球温暖化対策条例」及び「京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例」の改正、さらに関係計画の改定も行いました。「ウェルビーイング＝府民が幸せを実感できる状態」の向上と環境・経済・社会の好循環の創出を柱として、環境保全を着実に進めながら、府民生活の質の向上につながる取組等を推進し、持続可能な社会の構築を目指してまいります。

この白書では、京都府の環境施策の基本的な体系、最近の主な取組の成果、大気・水質の環境モニタリング結果など、京都府の環境施策の状況等を広く御紹介しています。多くの皆様に御活用いただき、いま一度、環境の大切さについて考え、環境を守り育てる取組を推進していただくきっかけとしていただければ幸いです。

令和8年3月

京都府知事 西脇隆俊